

「認知症サポート医の活動に対する 新型コロナウィルスの影響に関するアンケート」結果概要

1 アンケートのねらい

新型コロナウィルス感染の流行は、地域住民の生活に大きな変化をもたらしたが、とりわけ変化への適応が困難な認知症患者に対しては心身に少なからぬ影響を与えていたことが推測される。こうした認知症患者の置かれた状況とともに、感染流行下での認知症サポート医の活動の実態を把握することで、今後のウィズコロナ時代における認知症サポート医の活動の在り方等を検討するための基礎資料とする。

2 回答状況

調査対象	静岡県内のすべての認知症サポート医 319名
調査期間	令和3年9月10日（金）～9月24日（金）
調査方法	郵送調査
回収数	193サンプル
回収率	60.5%

3 結果概要

（1）回答者属性

性別では男性が約9割を占め、年代別では一番多いのが「60歳代」の38.3%で、「50歳代」と合わせて全体の約7割を占めている。

所属の区分別では「無床診療所」が74.1%を占め、続いで「病院」が18.7%となっており、診療科別ではいわゆる専門科（神経内科、脳神経外科、精神神経科、心療内科）は全体の約1/3(33.7%)で、「その他の内科系」が50.3%、「その他の外科系」が10.9%となっている。

認知症サポート医となってからの経過年数別では、「3年以上6年未満」が39.4%で一番多く、以下、「6年以上」29.0%、「3年未満」28.0%の順番となっている。

（2）認知症の診療に関するこ

認知症診療を行う患者数の変化を尋ねたところ、全体の約3/4(76.7%)は「変化なし」で、「減少した」は15.0%と「増加した」の8.3%よりもやや高くなっているものの、新型コロナウィルス感染の流行に伴い受診控えが広がった中、影響は限定的であるものと思われる。

しかしながら、診療している認知症患者への影響を見ると「大きな変化が見られた」5.7%、「多少の変化が見られた」32.1%を合わせて全体の4割近くを占めている。この

うち、心身の変化の具体的な状態については、「社会的孤立」が 75.3%で最も高く、「運動機能の低下」69.9%、「認知機能の低下」63.0%の順番となっており、精神的な影響の具体的な状態については、「不安」と「引きこもり」がともに 56.2%で最も高く、ついで「抑うつ」45.2%となっている。こうしたことから、外出の自粛や介護サービスの休止に伴う交流の機会や活動量の減少が、認知症患者の心身や精神に少なからぬ影響を与えたことがうかがわれる。

また、認知症に関する医療連携（病診連携、診診連携）の状況を尋ねたところ、全体の約 2/3 (65.3%) は「ほとんど変わらない」で、「減少している」は 13.5%と「増加している」の 4.7%よりも高くなっています。患者数の変化と同様の傾向が示されています。

（3）認知症サポート医としての活動に関するこ

① コロナ禍前の活動経験

コロナ禍となる前に認知症サポート医として活動した内容としては、「認知症患者・家族からの相談に対する助言」が 76.7%で最も高く、「介護施設・事業所からの相談に対する助言・支援」64.2%、「地域包括支援センターからの相談に対する助言・支援」60.6%の順番となっている。

これを回答者の属性別に見てみると、「所属の区別」「性・年代別」ではあまり差異が見られないが、「主な診療科別」ではいわゆる専門科（神経内科、脳神経外科、精神神経科、心療内科）の方がそれ以外の診療科よりも全体的に「活動経験あり」の割合が高くなっています。特に「かかりつけ医からの相談に対する助言・支援」においては顕著な差が見られる。また、「経験年数別」では経験年数が長いほど「活動経験あり」の割合が高くなっています。

② 活動への影響

コロナ禍において活動が「減少」した項目については、多いものから「認知症カフェや家族会等地域住民との関わり」92.0%、「地域住民への啓発活動」79.0%、「かかりつけ医・他職種向け研修への協力（講師等）」72.2%、「多職種連携の支援（地域ケア会議への参加等）」67.5%となっており、多数が集まって行う活動に大きな影響が出ていることがうかがえる。

一方で、行政機関、地域包括支援センター、かかりつけ医、介護施設・事業所、認知症患者・家族からの相談に対する助言・支援活動については、「減少」との回答はあったものの、半数以上が「変化なし」としており、コロナ禍においても個別の相談・支援はある程度継続して行われるものと考えられる。中でも、「認知症患者・家族からの相談に対する助言」については「増加」が「減少」を上回っており、外出や交流の機会を失ったことで症状の悪化や生活上の『困りごと』が増えている様子がうかがわれる。

なお、回答者の属性別では、「所属の区分別」「性・年代別」「主な診療科別」「経験年数別」のいずれにおいても、特段の差異や傾向は見られない。

③ 実施方法

活動の実施方法としては、「かかりつけ医からの相談に対する助言・支援」を除いて「対面」が基本となっているが、行政機関、地域包括支援センター、かかりつけ医、介護施設・事業所からの相談に対する助言・支援活動については、「メール・FAX」、「電話」が併用されている。

また、「WEB」での実施については、上位から「多職種連携の支援（地域ケア会議への参加等）」22.9%、「かかりつけ医・他職種向け研修への協力（講師等）」18.5%、「認知症初期集中支援チームへの参画」15.0%となっており、会議や研修において「WEB」の活用が試みられている様子がうかがえる。

なお、回答者の属性別では、「所属の区分別」「性・年代別」「主な診療科別」「経験年数別」のいずれにおいても、特段の差異や傾向は見られない。

④ I C T（情報機器によるコミュニケーション）の利用の広がり

I C Tの利用に関しては、「I C Tを利用するまでには至っておらず、実感はできていない」との回答が59.1%と高く、利用はまだ限定的である状況がうかがえるものの、「遠隔地や広域での会議や研修が可能になって便利になった」28.5%、「I C Tの利用により、多職種連携がしやすくなった」11.9%など、一部のサポート医はI C Tの効果を実感していて、特に会議や研修での利用が広がりつつある。

⑤ ウィズコロナ時代における認知症サポート医の活動

感染の収束が見通せない中での自身の認知症サポート医としての活動の展望について尋ねたところ、「やるべきことは基本的に変わらないと思うので、やれる範囲で活動に参加していく」が52.8%で半数を占めている。

その一方で、やり方の工夫等により「これまでの活動をさらに発展させたい」10.4%、「これまでの活動レベルをなるべく維持したい」7.8%と合わせて2割近くが、制約がある中でも活動に前向きな姿勢を示している。この両回答の合計値を経験年数別に見てみると、「3年以上6年未満」が26.3%で一番多く、以下「6年以上」19.6%、「3年未満」5.6%の順となっている。

(4) 見えてきた課題

① 認知症患者に関すること

課題	内容
認知症患者の状態の悪化	外出の自粛や介護サービスの休止に伴い交流の機会や活動量が減少することで、認知症患者の社会的孤立や引きこもりを誘発し運動・認知機能の低下へつながっている。
患者・家族へのフォロー	状態の悪化に伴い、患者・家族から認知症サポート医への相談は増えているが、コロナ禍において、改善に向けた有効な手立てが見い出せていない。

② 認知症サポート医の活動に関すること

課題	内容
活動機会の減少	関係機関や患者・家族からの相談への対応は一定程度の活動が維持されているものの、住民啓発や研修・会議への出席等、参加人数の多い活動については停滞している。
ICTの活用	従前の活動レベルを維持するための有効なツールとして期待されるICTであるが、活用の広がりは一定の範囲にとどまっている。
養成されたサポート医へのフォロー	経験年数の浅いサポート医は、養成研修を修了した時期に前後してコロナ禍となったため、活動経験を積む機会を逸失し、ノウハウの蓄積が不十分となっている可能性がある。

4 今後の取組

新型コロナウイルス感染の流行に伴い、交流の機会や活動量の減少から認知症患者の増加や悪化が進み、今後、地域社会の中で問題が顕在化してくる可能性がある。

停滞を余儀なくされたこととなった認知症サポート医の活動であるが、これを認知症サポート医の役割や関係機関との連携の在り方を再確認する機会と捉え、それぞれの地域に応じた形で活動を再開、活性化することで、ウィズコロナ時代にあっても認知症患者・家族が安心して暮せる地域社会の実現が求められている。

① 関係機関との連携

新型コロナウイルス感染の流行下においても、認知症サポート医への個別的な相談は一定程度行われていたが、会議等の開催の制約により地域の認知症サポート医と関係機関との情報交換の機会は減少している。

今後は必要に応じてICTも活用しながら、こうした機会の確保と参加者数の増加を図るとともに、関係機関との間で改めて認知症サポート医との連携方法や役割分担

等について確認し、活動の活性化につなげたい。

なお、こうした情報交換等の実施に当たっては、個々の関係機関における取組状況やこれまでの連携の度合いなどを勘案し、それぞれの地域の実情に応じたアプローチを行うことが望ましい。

機関名	検討内容（例）
行政	認知症サポート医の役割の明確化、活動機会の提供
認知症疾患医療センター	認知症サポート医との連携方法、役割のすみ分け
都市医師会	認知症サポート医の活動への協力
地域包括支援センター	認知症サポート医と多職種との連携

② 認知症サポート医同士の連携

年齢や診療科、経験年数など属性が様々な認知症サポート医が、それぞれの特徴を活かしつつ連携して活動に取り組むためには、認知症サポート医同士が意見や情報を交換し、相互理解を深める機会を設けることが重要である。

特に養成研修を修了した時期がコロナ禍と前後した経験年数の若い認知症サポート医に対しては、活動経験の蓄積とモチベーションの維持・向上のため、活動機会の提供など特別な配慮が必要である。

「認知症サポート医の活動に対する新型コロナウイルスの影響に関するアンケート」 集計結果

一般社団法人 静岡県医師会

■調査目的 新型コロナウイルス感染の流行による認知症サポート医の活動への影響を把握し、今後のウイズコロナ時代における活動の在り方等を検討する

■調査方法 郵送調査

■調査対象 静岡県内のすべての認知症サポート医 319件

■回収数 193サンプル

■調査期間 2021年9月10日(金)～2021年9月24日(金)

■性別

		男性	女性	無回答
調査全体	(193)	89.6	8.8	1.6
所属の区分	無床診療所	90.2	7.7	2.1
	有床診療所	100.0	0.0	0.0
	病院	83.3	16.7	0.0
	介護施設	100.0	0.0	0.0
	その他	100.0	0.0	0.0
主な診療科	神経内科	86.7	13.3	0.0
	脳神経外科	100.0	0.0	0.0
	精神神経科・心療内科	82.1	17.9	0.0
	その他内科系	87.6	10.3	2.1
	その他外科系	95.2	0.0	4.8
	その他の科	100.0	0.0	0.0
性・年代別	男性	100.0	0.0	0.0
	女性	0.0	100.0	0.0
	30歳代	100.0	0.0	0.0
	40歳代	84.0	16.0	0.0
	50歳代	91.7	8.3	0.0
	60歳代	90.5	9.5	0.0
	70歳代	82.6	4.3	13.0
	80歳以上	100.0	0.0	0.0
経過年数	3年未満	87.0	11.1	1.9
	3年以上～6年未満	90.8	9.2	0.0
	6年以上	91.1	5.4	3.6

■年代

		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
調査全体	(193)	0.0	2.6	13.0	31.1	38.3	11.9	3.1
無床診療所	(143)	0.0	2.8	9.8	35.0	38.5	11.9	2.1
有床診療所	(9)	0.0	0.0	11.1	11.1	44.4	33.3	0.0
病院	(36)	0.0	2.8	22.2	25.0	41.7	2.8	5.6
介護施設	(3)	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
その他	(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
神経内科	(15)	0.0	0.0	6.7	33.3	40.0	13.3	6.7
脳神経外科	(22)	0.0	0.0	4.5	22.7	50.0	13.6	9.1
精神神経科・心療内科	(28)	0.0	3.6	14.3	25.0	42.9	10.7	3.6
その他内科系	(97)	0.0	3.1	14.4	36.1	30.9	13.4	2.1
その他外科系	(21)	0.0	0.0	19.0	19.0	52.4	9.5	0.0
その他の科	(10)	0.0	10.0	10.0	40.0	40.0	0.0	0.0
男性	(173)	0.0	2.9	12.1	31.8	38.7	11.0	3.5
女性	(17)	0.0	0.0	23.5	29.4	41.2	5.9	0.0
30歳代	(5)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40歳代	(25)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50歳代	(60)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
60歳代	(74)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
70歳代	(23)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
80歳以上	(6)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
3年未満	(54)	0.0	5.6	24.1	37.0	22.2	9.3	1.9
3年以上～6年未満	(76)	0.0	2.6	11.8	39.5	38.2	6.6	1.3
6年以上	(56)	0.0	0.0	5.4	12.5	53.6	21.4	7.1

■所属の区分

		無床診療所	有床診療所	病院	介護施設	その他
調査全体	(193)	74.1	4.7	18.7	1.6	1.0
所属の区分	無床診療所	(143)	100.0	0.0	0.0	0.0
	有床診療所	(9)	0.0	100.0	0.0	0.0
	病院	(36)	0.0	0.0	100.0	0.0
	介護施設	(3)	0.0	0.0	0.0	100.0
	その他	(2)	0.0	0.0	0.0	100.0
主な診療科	神経内科	(15)	66.7	6.7	20.0	0.0
	脳神経外科	(22)	68.2	0.0	31.8	0.0
	精神神経科・心療内科	(28)	46.4	10.7	39.3	0.0
	その他内科系	(97)	82.5	4.1	10.3	3.1
	その他外科系	(21)	76.2	4.8	19.0	0.0
	その他の科	(10)	90.0	0.0	10.0	0.0
	男性	(173)	74.6	5.2	17.3	1.7
性・年代別	女性	(17)	64.7	0.0	35.3	0.0
	30歳代	(5)	80.0	0.0	20.0	0.0
	40歳代	(25)	56.0	4.0	32.0	8.0
	50歳代	(60)	83.3	1.7	15.0	0.0
	60歳代	(74)	74.3	5.4	20.3	0.0
	70歳代	(23)	73.9	13.0	4.3	4.3
	80歳以上	(6)	50.0	0.0	33.3	0.0
	3年未満	(54)	66.7	5.6	25.9	1.9
経過年数	3年以上～6年未満	(76)	72.4	5.3	18.4	2.6
	6年以上	(56)	83.9	3.6	10.7	0.0

■自身の主な診療科

	神経内科	脳神経外科	精神神経科・心療内科	その他の内科系	その他の外科系	その他の科
調査全体	(193)	7.8	11.4	14.5	50.3	10.9
無床診療所	(143)	7.0	10.5	9.1	55.9	11.2
有床診療所	(9)	11.1	0.0	33.3	44.4	11.1
病院	(36)	8.3	19.4	30.6	27.8	11.1
介護施設	(3)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
その他	(2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
神経内科	(15)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳神経外科	(22)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
精神神経科・心療内科	(28)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
その他内科系	(97)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
その他外科系	(21)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
その他の科	(10)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
男性	(173)	7.5	12.7	13.3	49.1	11.6
女性	(17)	11.8	0.0	29.4	58.8	0.0
30歳代	(5)	0.0	0.0	20.0	60.0	0.0
40歳代	(25)	4.0	4.0	16.0	56.0	16.0
50歳代	(60)	8.3	8.3	11.7	58.3	6.7
60歳代	(74)	8.1	14.9	16.2	40.5	14.9
70歳代	(23)	8.7	13.0	13.0	56.5	8.7
80歳以上	(6)	16.7	33.3	16.7	33.3	0.0
3年未満	(54)	9.3	7.4	14.8	57.4	7.4
3年以上～6年未満	(76)	5.3	11.8	14.5	51.3	14.5
6年以上	(56)	8.9	14.3	14.3	42.9	10.7

■サポート医経過年数

		3年未満	3年以上 ～6年未 満	6年以上	無回答
調査全体	(193)	28.0	39.4	29.0	3.6
所属の区分	無床診療所	(143)	25.2	38.5	32.9
	有床診療所	(9)	33.3	44.4	22.2
	病院	(36)	38.9	38.9	16.7
	介護施設	(3)	33.3	66.7	0.0
	その他	(2)	0.0	50.0	50.0
主な診療科	神経内科	(15)	33.3	26.7	33.3
	脳神経外科	(22)	18.2	40.9	36.4
	精神神経科・心療内科	(28)	28.6	39.3	28.6
	その他内科系	(97)	32.0	40.2	24.7
	その他外科系	(21)	19.0	52.4	28.6
	その他の科	(10)	20.0	20.0	50.0
	男性	(173)	27.2	39.9	29.5
性・年代別	女性	(17)	35.3	41.2	17.6
	30歳代	(5)	60.0	40.0	0.0
	40歳代	(25)	52.0	36.0	12.0
	50歳代	(60)	33.3	50.0	11.7
	60歳代	(74)	16.2	39.2	40.5
	70歳代	(23)	21.7	21.7	52.2
	80歳以上	(6)	16.7	16.7	66.7
	3年未満	(54)	100.0	0.0	0.0
経過年数	3年以上～6年未満	(76)	0.0	100.0	0.0
	6年以上	(56)	0.0	0.0	100.0

(1)認知症診療の患者数の変化

Covid-19の流行により、認知症診療を行う患者数に変化はありましたか？（〇は1つ）

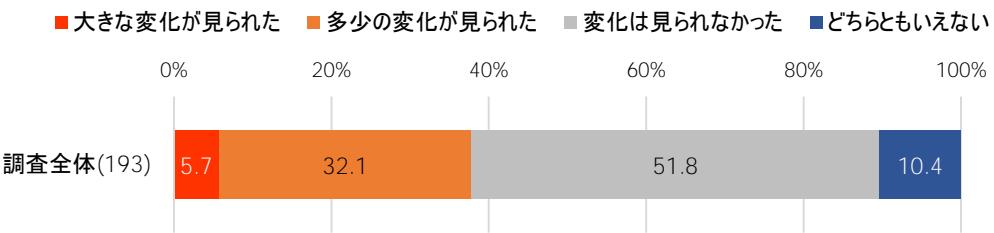


調査全体 (193)		増加した	変化なし	減少した
所属の区分	(193)	8.3	76.7	15.0
無床診療所	(143)	7.7	76.9	15.4
有床診療所	(9)	11.1	77.8	11.1
病院	(36)	2.8	80.6	16.7
介護施設	(3)	33.3	66.7	0.0
その他	(2)	100.0	0.0	0.0
主な診療科				
神経内科	(15)	13.3	53.3	33.3
脳神経外科	(22)	9.1	72.7	18.2
精神神経科・心療内科	(28)	10.7	75.0	14.3
その他内科系	(97)	7.2	80.4	12.4
その他外科系	(21)	4.8	81.0	14.3
その他の科	(10)	10.0	80.0	10.0
性別				
男性	(173)	7.5	78.6	13.9
女性	(17)	17.6	58.8	23.5
年齢別				
30歳代	(5)	20.0	80.0	0.0
40歳代	(25)	8.0	80.0	12.0
50歳代	(60)	6.7	81.7	11.7
60歳代	(74)	4.1	73.0	23.0
70歳代	(23)	21.7	69.6	8.7
80歳以上	(6)	16.7	83.3	0.0
経過年数				
3年未満	(54)	7.4	79.6	13.0
3年以上～6年未満	(76)	10.5	77.6	11.8
6年以上	(56)	7.1	73.2	19.6

- 認知症診療の患者数の変化について、「変化なし」との回答が76.7%を占めている。また、「増加した」が8.3%、「減少した」が15.0%となっており、減少傾向との回答した割合がやや高くなっている。

(2)認知症患者への影響

Covid-19の流行により、ご自身の診療している認知症患者の心身の状態に変化が見られましたか？（〇は1つ）



調査全体 (193)		大きな変化が見られた	多少の変化が見られた	か変化は見られない	などどちらともいえない
所属の区分	(193)	5.7	32.1	51.8	10.4
無床診療所	(143)	6.3	28.7	55.9	9.1
有床診療所	(9)	0.0	55.6	22.2	22.2
病院	(36)	5.6	41.7	38.9	13.9
介護施設	(3)	0.0	0.0	100.0	0.0
その他	(2)	0.0	50.0	50.0	0.0
主な診療科					
神経内科	(15)	6.7	46.7	26.7	20.0
脳神経外科	(22)	13.6	27.3	54.5	4.5
精神神経科・心療内科	(28)	3.6	53.6	35.7	7.1
その他内科系	(97)	5.2	27.8	53.6	13.4
その他外科系	(21)	0.0	23.8	71.4	4.8
その他の科	(10)	10.0	20.0	70.0	0.0
性別					
男性	(173)	6.4	30.6	52.6	10.4
女性	(17)	0.0	47.1	41.2	11.8
年齢別					
30歳代	(5)	40.0	0.0	20.0	40.0
40歳代	(25)	8.0	52.0	36.0	4.0
50歳代	(60)	6.7	36.7	45.0	11.7
60歳代	(74)	2.7	28.4	58.1	10.8
70歳代	(23)	4.3	26.1	60.9	8.7
80歳以上	(6)	0.0	0.0	100.0	0.0
経過年数					
3年未満	(54)	7.4	29.6	50.0	13.0
3年以上～6年未満	(76)	3.9	38.2	46.1	11.8
6年以上	(56)	7.1	25.0	64.3	3.6

- 認知症患者の心身の状態については、「大きな変化が見られた」が5.7%、「多少の変化が見られた」が32.1%で、何らかの変化が見られたと回答したのは、全体の4割程度となった。「変化は見られなかった」が51.8%を占めている。

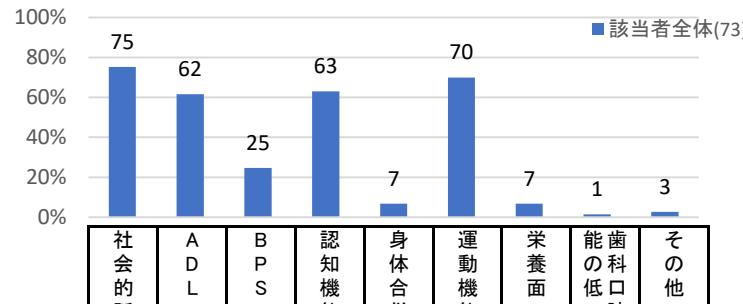
「(2)認知症患者への影響」で「1」「2」を選択の場合のみ回答

※各分析軸の():サンプル数、グラフ・数表の単位: %

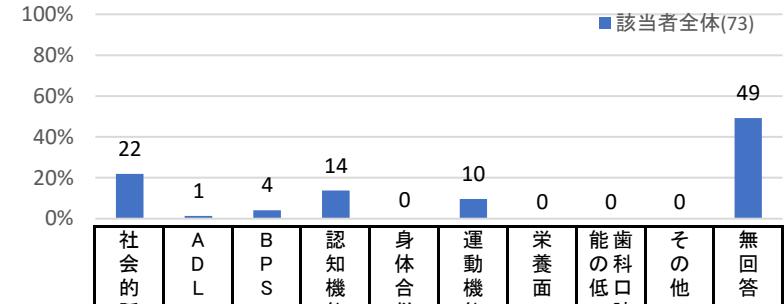
①心身の変化の具体的な状態

認知症患者の心身の変化で、具体的な状態として見られたのは次のうちどれですか？当てはまるものすべてに「○」、最も顕著なものに「◎」を付けてください。

【当てはまるものすべて】



【最も顕著なもの】



該当者全体		(73)	75.3	61.6	24.7	63.0	6.8	69.9	6.8	1.4	2.7
所 属 の 区 分	無床診療所	(50)	70.0	64.0	22.0	64.0	4.0	76.0	8.0	2.0	4.0
有床診療所	(5)	100.0	20.0	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
病院	(17)	88.2	70.6	29.4	58.8	17.6	64.7	5.9	0.0	0.0	0.0
介護施設	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	(1)	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
主 な 診 療 科	神経内科	(8)	75.0	50.0	50.0	50.0	12.5	75.0	0.0	0.0	0.0
脳神経外科	(9)	77.8	55.6	11.1	77.8	11.1	66.7	11.1	0.0	11.1	0.0
精神神経科・心療内科	(16)	81.3	56.3	25.0	68.8	12.5	87.5	6.3	0.0	0.0	0.0
その他内科系	(32)	78.1	75.0	25.0	59.4	3.1	65.6	6.3	3.1	0.0	0.0
その他外科系	(5)	60.0	40.0	20.0	80.0	0.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0
その他の科	(3)	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
性 ・ 年 代 別	男性	(64)	75.0	62.5	23.4	60.9	4.7	68.8	6.3	1.6	3.1
	女性	(8)	87.5	50.0	37.5	87.5	25.0	75.0	12.5	0.0	0.0
30歳代	(2)	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40歳代	(15)	86.7	66.7	26.7	80.0	20.0	80.0	26.7	6.7	0.0	0.0
50歳代	(26)	76.9	76.9	30.8	65.4	7.7	76.9	0.0	0.0	3.8	0.0
60歳代	(23)	73.9	52.2	17.4	47.8	0.0	60.9	4.3	0.0	4.3	0.0
70歳代	(7)	57.1	28.6	14.3	71.4	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0
80歳以上	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
経 過 年 数	3年未満	(20)	75.0	85.0	25.0	65.0	10.0	80.0	10.0	5.0	0.0
	3年以上～6年未満	(32)	81.3	56.3	21.9	68.8	3.1	68.8	3.1	0.0	0.0
	6年以上	(18)	66.7	38.9	27.8	44.4	11.1	61.1	11.1	0.0	11.1

- 認知症患者の心身の変化としては、「社会的孤立」が75.3%で最も高く、次いで「運動機能の低下」69.9%、「認知機能の低下」63.0%の順となった。

- 最も顕著な心身の変化としては、「社会的孤立」21.9%で最も高く、次いで「認知機能の低下」13.7%、「運動機能の低下」9.6%の順となった。

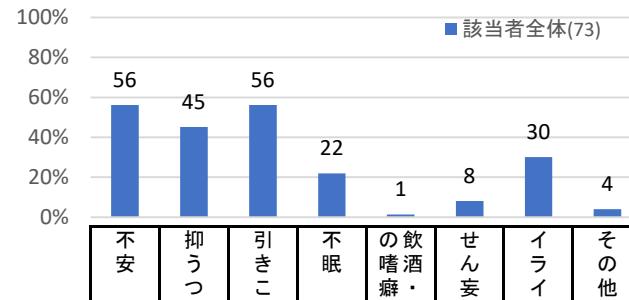
「(2)認知症患者への影響」で「1」「2」を選択の場合のみ回答

※各分析軸の():サンプル数、グラフ・数表の単位: %

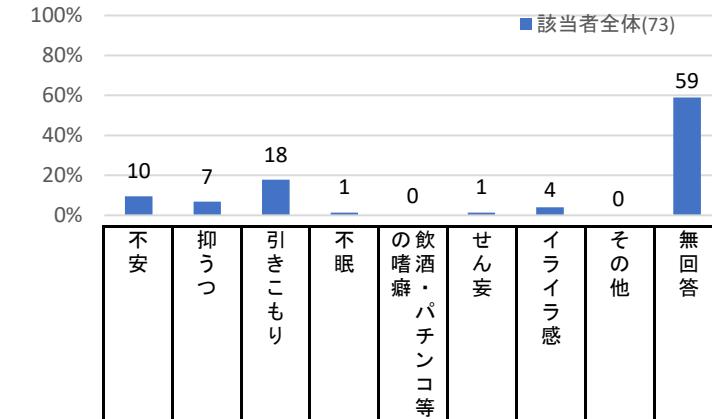
②精神的な影響の具体的状態

認知症患者の精神的な影響で、具体的な状態として見られたのは次のうちどれですか？当てはまるものすべてに「○」、最も顕著なものに「◎」を付けてください。

【当てはまるものすべて】



【最も顕著なもの】



		該当者全体 (73)								
所属の区分	該当者全体 (73)	56.2	45.2	56.2	21.9	1.4	8.2	30.1	4.1	
無床診療所	(50)	56.0	40.0	50.0	28.0	2.0	6.0	22.0	4.0	
有床診療所	(5)	40.0	60.0	80.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	
病院	(17)	64.7	58.8	64.7	5.9	0.0	17.6	41.2	5.9	
介護施設	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	(1)	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
主な診療科	神経内科	(8)	37.5	25.0	75.0	37.5	0.0	0.0	25.0	0.0
	脳神経外科	(9)	33.3	33.3	33.3	11.1	0.0	22.2	11.1	11.1
	精神神経科・心療内科	(16)	87.5	68.8	62.5	25.0	0.0	12.5	18.8	0.0
	その他内科系	(32)	59.4	40.6	62.5	15.6	3.1	6.3	37.5	3.1
	その他外科系	(5)	40.0	60.0	20.0	60.0	0.0	0.0	60.0	20.0
	その他の科	(3)	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
性・年代別	男性	(64)	51.6	45.3	56.3	20.3	1.6	7.8	29.7	4.7
	女性	(8)	87.5	50.0	62.5	25.0	0.0	12.5	37.5	0.0
	30歳代	(2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
	40歳代	(15)	66.7	53.3	60.0	20.0	0.0	6.7	33.3	0.0
	50歳代	(26)	65.4	53.8	65.4	15.4	0.0	15.4	34.6	0.0
	60歳代	(23)	43.5	34.8	47.8	26.1	4.3	4.3	17.4	13.0
	70歳代	(7)	42.9	28.6	57.1	42.9	0.0	0.0	42.9	0.0
	80歳以上	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
経過年数	3年未満	(20)	70.0	50.0	50.0	30.0	0.0	15.0	40.0	0.0
	3年以上～6年未満	(32)	56.3	46.9	59.4	12.5	0.0	9.4	28.1	3.1
	6年以上	(18)	38.9	33.3	55.6	33.3	5.6	0.0	22.2	11.1

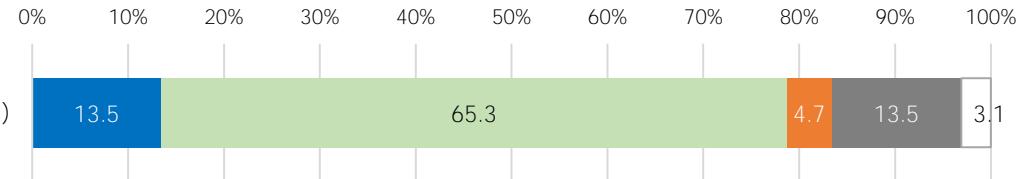
- 精神的な影響としては、「不安」と「引きこもり」がともに56.2%で最も高く、「抑うつ」45.2%、「イライラ感」30.1%の順となった。

- 精神的な影響として最も顕著なものについては、「引きこもり」が17.8%で最も高くなっている。

(3)認知症に関する医療連携の状況

コロナ禍において、症例紹介に関する診療連携、病診連携は行われていますか？(○は1つ)

■減少している ■ほとんど変わらない ■増加している ■これまで特に連携は行っていない □無回答



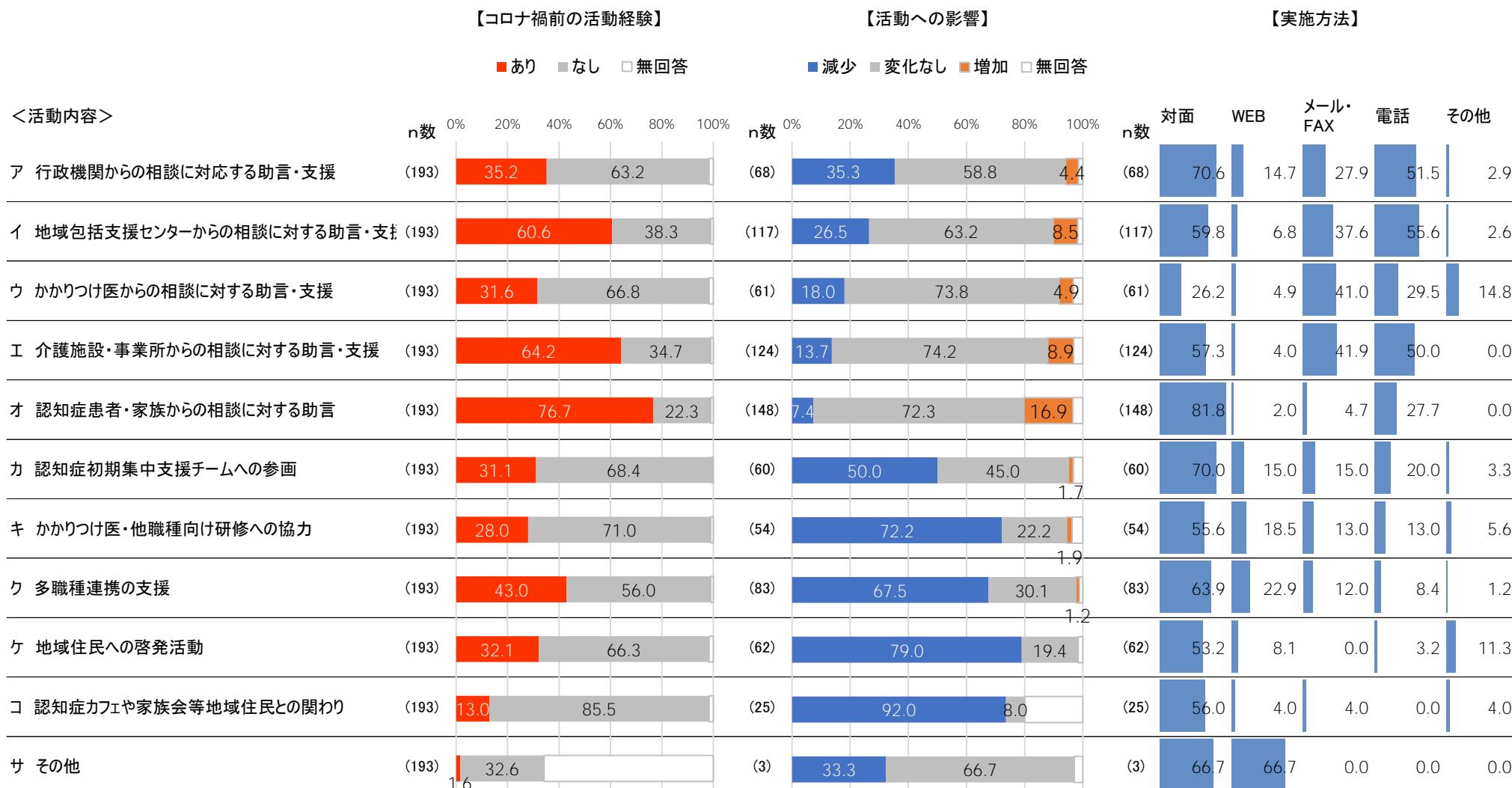
	減少している	ほとんど変わらない	増加している	これまで特に連携は行っていない	無回答
調査全体(193)	13.5	65.3	4.7	13.5	3.1

所属の区分	調査全体 (193)	13.5	65.3	4.7	13.5	3.1
無床診療所	(143)	11.2	67.1	4.9	12.6	4.2
有床診療所	(9)	22.2	55.6	0.0	22.2	0.0
病院	(36)	22.2	61.1	2.8	13.9	0.0
介護施設	(3)	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
その他	(2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
主な診療科	神経内科 (15)	26.7	66.7	6.7	0.0	0.0
	脳神経外科 (22)	18.2	72.7	0.0	0.0	9.1
	精神神経科・心療内科 (28)	25.0	57.1	10.7	7.1	0.0
	その他内科系 (97)	7.2	66.0	4.1	18.6	4.1
	その他外科系 (21)	9.5	71.4	4.8	14.3	0.0
	その他の科 (10)	20.0	50.0	0.0	30.0	0.0
性・年代別	男性 (173)	13.9	65.3	4.6	12.7	3.5
	女性 (17)	11.8	58.8	5.9	23.5	0.0
	30歳代 (5)	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0
	40歳代 (25)	16.0	56.0	4.0	20.0	4.0
	50歳代 (60)	6.7	75.0	5.0	11.7	1.7
	60歳代 (74)	21.6	60.8	2.7	12.2	2.7
	70歳代 (23)	8.7	60.9	8.7	17.4	4.3
	80歳以上 (6)	0.0	66.7	16.7	0.0	16.7
経過年数	3年未満 (54)	13.0	59.3	3.7	18.5	5.6
	3年以上～6年未満 (76)	13.2	68.4	5.3	11.8	1.3
	6年以上 (56)	12.5	67.9	5.4	10.7	3.6

- コロナ禍における症例紹介に関する診療連携、病診連携の状況については、「ほとんど変わらない」が65.3%を占めている。また、「減少している」が13.5%、「増加している」が4.7%で減少傾向を示した割合がやや上回っている。

(1)ご自身の認知症サポート医としての活動への影響

コロナ禍のために、認知症サポート医としてこれまで関わってきた活動で影響を受けたものがありますか？また、活動を継続している場合、どのように実施していますか？



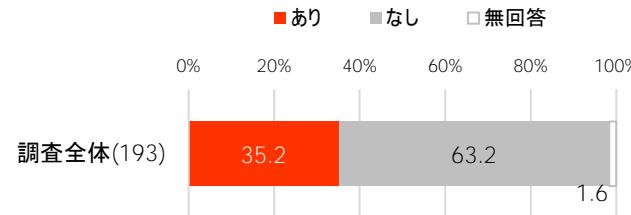
- コロナ禍による認知症サポート医の活動への影響としては、「かかりつけ医・他職種向け研修への協力」「多職種連携の支援」「地域住民への啓発活動」「認知症カフェや家族会等地域住民との関わり」において、「減少」したとの回答が半数以上にのぼり、多数が集まって行う活動に影響が出ていることがうかがえる。一方で、行政機関、地域包括支援センター、かかりつけ医、介護施設・事業所、認知症患者・家族からの相談に対する助言・支援活動については、「減少」との回答はあったものの、半数以上が「変化なし」としており、認知症患者・家族については「増加」が「減少」を上回っている。
- 活動の実施方法としては、「かかりつけ医からの相談に対する助言・支援」を除いて「対面」が基本となっているが、行政機関、地域包括支援センター、かかりつけ医、介護施設・事業所からの相談に対する助言・支援活動については、「メール・FAX」、「電話」による実施が併用されている。一方で、「認知症初期集中支援チームへの参画」「かかりつけ医・他職種向け研修への協力」「多職種連携の支援」については「WEB」の活用が試みられている様子がうかがえる。

(1)ご自身の認知症サポート医としての活動への影響

コロナ禍のために、認知症サポート医としてこれまで関わってきた活動で影響を受けたものはありませんか？また、活動を継続している場合、どのように実施していますか？

ア 行政機関からの相談に対する助言・支援

【コロナ禍前の活動経験】



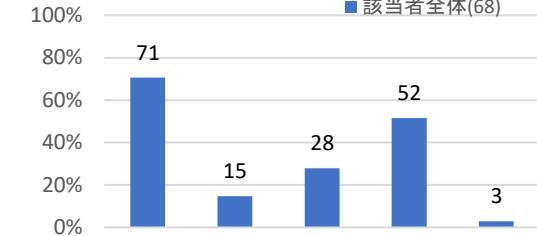
	あり	なし	無回答
調査全体	35.2	63.2	1.6

【活動への影響】※左記が「1」の場合いずれかに○



	減少	変化なし	増加	無回答
(68)	35.3	58.8	4.4	1.5
(51)	35.3	56.9	5.9	2.0
(3)	33.3	66.7	0.0	0.0
(12)	41.7	58.3	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(2)	0.0	100.0	0.0	0.0
(6)	33.3	66.7	0.0	0.0
(10)	30.0	70.0	0.0	0.0
(14)	28.6	64.3	7.1	0.0
(29)	48.3	44.8	3.4	3.4
(6)	16.7	66.7	16.7	0.0
(3)	0.0	100.0	0.0	0.0
(63)	33.3	60.3	4.8	1.6
(4)	50.0	50.0	0.0	0.0
(2)	0.0	50.0	0.0	50.0
(5)	40.0	40.0	20.0	0.0
(18)	27.8	72.2	0.0	0.0
(32)	46.9	46.9	6.3	0.0
(9)	22.2	77.8	0.0	0.0
(2)	0.0	100.0	0.0	0.0
(10)	20.0	70.0	0.0	10.0
(25)	32.0	60.0	8.0	0.0
(30)	40.0	56.7	3.3	0.0

【実施方法】※複数回答可



	対面	WEB	メール	電話	その他
(68)	70.6	14.7	27.9	51.5	2.9
(51)	78.4	11.8	29.4	58.8	0.0
(3)	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0
(12)	66.7	25.0	16.7	25.0	8.3
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(2)	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
(6)	50.0	33.3	33.3	50.0	0.0
(10)	60.0	0.0	60.0	40.0	0.0
(14)	71.4	21.4	28.6	57.1	7.1
(29)	75.9	17.2	13.8	44.8	0.0
(6)	66.7	0.0	16.7	66.7	16.7
(3)	100.0	0.0	66.7	100.0	0.0
(63)	69.8	12.7	27.0	50.8	3.2
(4)	75.0	50.0	50.0	75.0	0.0
(2)	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
(5)	60.0	0.0	20.0	60.0	0.0
(18)	77.8	11.1	38.9	66.7	0.0
(32)	65.6	21.9	31.3	40.6	3.1
(9)	77.8	11.1	11.1	44.4	0.0
(2)	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
(10)	80.0	30.0	20.0	70.0	0.0
(25)	68.0	8.0	24.0	40.0	4.0
(30)	70.0	13.3	33.3	53.3	3.3

- 「行政機関からの相談に対する助言・支援」の活動経験があるのは35.2%。活動への影響として「変化なし」が6割を占めているが、「減少」が35.3%、「増加」が4.4%と全体としては減少傾向となっている。

(1)ご自身の認知症サポート医としての活動への影響

コロナ禍のために、認知症サポート医としてこれまで関わってきた活動で影響を受けたものはありませんか？また、活動を継続している場合、どのように実施していますか？

イ 地域包括支援センターからの相談に対する助言・支援

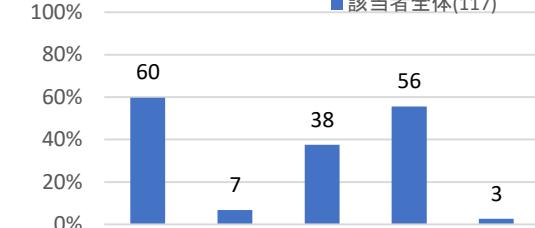
【コロナ禍前の活動経験】



【活動への影響】※左記が「1」の場合いずれかに○



【実施方法】※複数回答可



		あり	なし	無回答
調査全体	(193)	60.6	38.3	1.0
所属の区分	無床診療所	63.6	35.0	1.4
	有床診療所	55.6	44.4	0.0
	病院	47.2	52.8	0.0
	介護施設	66.7	33.3	0.0
	その他	100.0	0.0	0.0
主な診療科	神経内科	66.7	33.3	0.0
	脳神経外科	86.4	13.6	0.0
	精神神経科・心療内科	71.4	28.6	0.0
	その他内科系	54.6	44.3	1.0
	その他外科系	52.4	47.6	0.0
	その他の科	40.0	50.0	10.0
性・年代別	男性	61.3	37.6	1.2
	女性	47.1	52.9	0.0
	30歳代	60.0	40.0	0.0
	40歳代	48.0	52.0	0.0
	50歳代	56.7	41.7	1.7
	60歳代	67.6	31.1	1.4
	70歳代	65.2	34.8	0.0
	80歳以上	50.0	50.0	0.0
経過年数	3年未満	42.6	57.4	0.0
	3年以上～6年未満	59.2	39.5	1.3
	6年以上	78.6	19.6	1.8

	減少	変化なし	増加	無回答
(117)	26.5	63.2	8.5	1.7
(91)	27.5	62.6	7.7	2.2
(5)	40.0	40.0	20.0	0.0
(17)	23.5	70.6	5.9	0.0
(2)	0.0	100.0	0.0	0.0
(2)	0.0	50.0	50.0	0.0
(10)	20.0	70.0	10.0	0.0
(19)	15.8	78.9	5.3	0.0
(20)	30.0	50.0	20.0	0.0
(53)	30.2	62.3	5.7	1.9
(11)	27.3	63.6	9.1	0.0
(4)	25.0	50.0	0.0	25.0
(106)	26.4	64.2	7.5	1.9
(8)	25.0	50.0	25.0	0.0
(3)	0.0	66.7	0.0	33.3
(12)	25.0	50.0	25.0	0.0
(34)	20.6	73.5	5.9	0.0
(50)	36.0	56.0	6.0	2.0
(15)	20.0	73.3	6.7	0.0
(3)	0.0	66.7	33.3	0.0
(23)	13.0	73.9	8.7	4.3
(45)	26.7	60.0	13.3	0.0
(44)	29.5	63.6	4.5	2.3

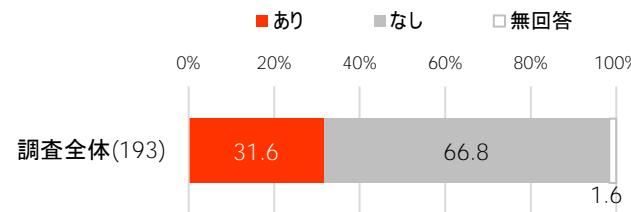
- 「地域包括支援センターからの相談に対する助言・支援」の活動経験があるのは60.6%。活動への影響として「変化なし」が6割を占めているが、「減少」が26.5%、「増加」が8.5%と全体としては減少傾向となっている。

(1)ご自身の認知症サポート医としての活動への影響

コロナ禍のために、認知症サポート医としてこれまで関わってきた活動で影響を受けたものはありませんか？また、活動を継続している場合、どのように実施していますか？

ウ かかりつけ医からの相談に対する助言・支援

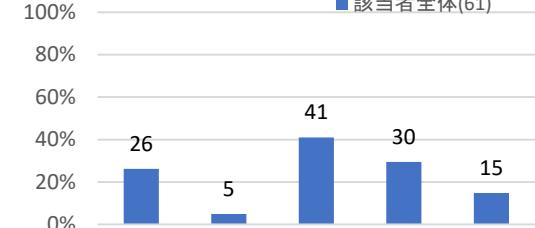
【コロナ禍前の活動経験】



【活動への影響】※左記が「1」の場合いずれかに○



【実施方法】※複数回答可



		あり	なし	無回答
調査全体	(193)	31.6	66.8	1.6
所属の区分	無床診療所 (143)	26.6	71.3	2.1
	有床診療所 (9)	55.6	44.4	0.0
	病院 (36)	41.7	58.3	0.0
	介護施設 (3)	33.3	66.7	0.0
	その他 (2)	100.0	0.0	0.0
主な診療科	神経内科 (15)	66.7	33.3	0.0
	脳神経外科 (22)	77.3	18.2	4.5
	精神神経科・心療内科 (28)	64.3	35.7	0.0
	その他内科系 (97)	11.3	87.6	1.0
	その他外科系 (21)	0.0	100.0	0.0
	その他の科 (10)	50.0	40.0	10.0
性・年代別	男性 (173)	30.6	67.6	1.7
	女性 (17)	41.2	58.8	0.0
	30歳代 (5)	40.0	60.0	0.0
	40歳代 (25)	20.0	80.0	0.0
	50歳代 (60)	33.3	65.0	1.7
	60歳代 (74)	33.8	63.5	2.7
	70歳代 (23)	26.1	73.9	0.0
	80歳以上 (6)	50.0	50.0	0.0
経過年数	3年未満 (54)	24.1	75.9	0.0
	3年以上～6年未満 (76)	30.3	67.1	2.6
	6年以上 (56)	41.1	57.1	1.8

	減少	変化なし	増加	無回答
(61)	18.0	73.8	4.9	3.3
(38)	15.8	73.7	7.9	2.6
(5)	40.0	60.0	0.0	0.0
(15)	20.0	73.3	0.0	6.7
(1)	0.0	100.0	0.0	0.0
(2)	0.0	100.0	0.0	0.0
(10)	20.0	70.0	10.0	0.0
(17)	5.9	88.2	0.0	5.9
(18)	16.7	72.2	11.1	0.0
(11)	27.3	63.6	0.0	9.1
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(5)	40.0	60.0	0.0	0.0
(53)	18.9	75.5	3.8	1.9
(7)	0.0	71.4	14.3	14.3
(2)	50.0	50.0	0.0	0.0
(5)	0.0	60.0	20.0	20.0
(20)	20.0	70.0	5.0	5.0
(25)	20.0	80.0	0.0	0.0
(6)	16.7	66.7	16.7	0.0
(3)	0.0	100.0	0.0	0.0
(13)	15.4	61.5	7.7	15.4
(23)	30.4	65.2	4.3	0.0
(23)	8.7	87.0	4.3	0.0

● 「かかりつけ医からの相談に対する助言・支援」の活動経験があるのは31.6%。活動への影響として「変化なし」が7割を占めているが、「減少」が18.0%、「増加」が4.9%と全体としてはやや減少となっている。

(1)ご自身の認知症サポート医としての活動への影響

コロナ禍のために、認知症サポート医としてこれまで関わってきた活動で影響を受けたものはありませんか？また、活動を継続している場合、どのように実施していますか？

I 介護施設・事業所からの相談に対する助言・支援

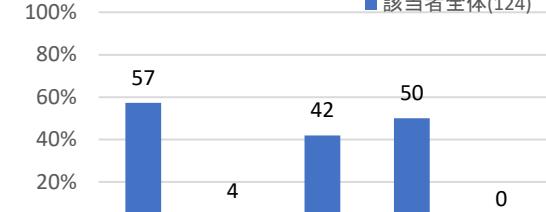
【コロナ禍前の活動経験】



【活動への影響】※左記が「1」の場合いずれかに○



【実施方法】※複数回答可



		あり	なし	無回答
調査全体	(193)	64.2	34.7	1.0
所属の区分	無床診療所 (143)	66.4	32.2	1.4
	有床診療所 (9)	77.8	22.2	0.0
	病院 (36)	50.0	50.0	0.0
	介護施設 (3)	66.7	33.3	0.0
	その他 (2)	100.0	0.0	0.0
主な診療科	神経内科 (15)	73.3	26.7	0.0
	脳神経外科 (22)	86.4	13.6	0.0
	精神神経科・心療内科 (28)	71.4	28.6	0.0
	その他内科系 (97)	56.7	42.3	1.0
	その他外科系 (21)	71.4	28.6	0.0
	その他の科 (10)	40.0	50.0	10.0
性・年代別	男性 (173)	64.2	34.7	1.2
	女性 (17)	58.8	41.2	0.0
	30歳代 (5)	60.0	40.0	0.0
	40歳代 (25)	48.0	52.0	0.0
	50歳代 (60)	68.3	30.0	1.7
	60歳代 (74)	64.9	33.8	1.4
	70歳代 (23)	73.9	26.1	0.0
	80歳以上 (6)	50.0	50.0	0.0
経過年数	3年未満 (54)	57.4	42.6	0.0
	3年以上～6年未満 (76)	65.8	32.9	1.3
	6年以上 (56)	67.9	30.4	1.8

	減少	変化なし	増加	無回答
(124)	13.7	74.2	8.9	3.2
(95)	12.6	75.8	9.5	2.1
(7)	14.3	85.7	0.0	0.0
(18)	22.2	66.7	0.0	11.1
(2)	0.0	50.0	50.0	0.0
(2)	0.0	50.0	50.0	0.0
(11)	9.1	72.7	9.1	9.1
(19)	0.0	94.7	0.0	5.3
(20)	20.0	65.0	15.0	0.0
(55)	16.4	70.9	10.9	1.8
(15)	6.7	80.0	6.7	6.7
(4)	50.0	50.0	0.0	0.0
(111)	13.5	76.6	7.2	2.7
(10)	10.0	50.0	30.0	10.0
(3)	0.0	100.0	0.0	0.0
(12)	8.3	41.7	41.7	8.3
(41)	12.2	78.0	4.9	4.9
(48)	18.8	75.0	4.2	2.1
(17)	11.8	82.4	5.9	0.0
(3)	0.0	66.7	33.3	0.0
(31)	9.7	80.6	3.2	6.5
(50)	12.0	66.0	18.0	4.0
(38)	21.1	76.3	2.6	0.0

- 「介護施設・事業所からの相談に対する助言・支援」の活動経験があるのは64.2%。活動への影響として「変化なし」が7割を占めており、「減少」が13.7%、「増加」が8.9%となっており大きく影響した様子はうかがえない。

(1)ご自身の認知症サポート医としての活動への影響

コロナ禍のために、認知症サポート医としてこれまで関わってきた活動で影響を受けたものはありませんか？また、活動を継続している場合、どのように実施していますか？

オ 認知症患者・家族からの相談に対する助言

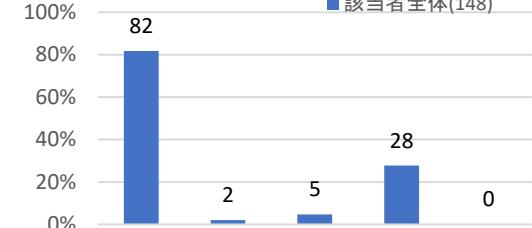
【コロナ禍前の活動経験】



【活動への影響】※左記が「1」の場合いずれかに○



【実施方法】※複数回答可



		あり	なし	無回答
調査全体	(193)	76.7	22.3	1.0
所属の区分	無床診療所 (143)	79.7	18.9	1.4
	有床診療所 (9)	77.8	22.2	0.0
	病院 (36)	61.1	38.9	0.0
	介護施設 (3)	100.0	0.0	0.0
	その他 (2)	100.0	0.0	0.0
主な診療科	神経内科 (15)	86.7	13.3	0.0
	脳神経外科 (22)	95.5	4.5	0.0
	精神神経科・心療内科 (28)	82.1	17.9	0.0
	その他内科系 (97)	71.1	27.8	1.0
	その他外科系 (21)	81.0	19.0	0.0
	その他の科 (10)	50.0	40.0	10.0
性・年代別	男性 (173)	75.7	23.1	1.2
	女性 (17)	82.4	17.6	0.0
	30歳代 (5)	60.0	40.0	0.0
	40歳代 (25)	72.0	28.0	0.0
	50歳代 (60)	85.0	13.3	1.7
	60歳代 (74)	71.6	27.0	1.4
	70歳代 (23)	78.3	21.7	0.0
	80歳以上 (6)	83.3	16.7	0.0
経過年数	3年未満 (54)	66.7	33.3	0.0
	3年以上～6年未満 (76)	78.9	19.7	1.3
	6年以上 (56)	82.1	16.1	1.8

	減少	変化なし	増加	無回答
(148)	7.4	72.3	16.9	3.4
(114)	5.3	75.4	15.8	3.5
(7)	28.6	57.1	14.3	0.0
(22)	13.6	68.2	13.6	4.5
(3)	0.0	66.7	33.3	0.0
(2)	0.0	0.0	100.0	0.0
(13)	7.7	76.9	15.4	0.0
(21)	4.8	85.7	4.8	4.8
(23)	21.7	52.2	26.1	0.0
(69)	4.3	73.9	15.9	5.8
(17)	0.0	76.5	23.5	0.0
(5)	20.0	60.0	20.0	0.0
(131)	6.9	74.8	16.0	2.3
(14)	14.3	50.0	28.6	7.1
(3)	0.0	66.7	0.0	33.3
(18)	5.6	55.6	33.3	5.6
(51)	3.9	78.4	13.7	3.9
(53)	15.1	75.5	9.4	0.0
(18)	0.0	61.1	33.3	5.6
(5)	0.0	80.0	20.0	0.0
(36)	5.6	75.0	8.3	11.1
(60)	8.3	66.7	25.0	0.0
(46)	6.5	76.1	15.2	2.2

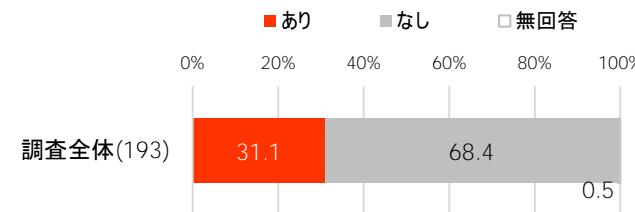
- 「認知症患者・家族からの相談に対する助言・支援」の活動経験があるのは76.7%。活動への影響として「変化なし」が7割を占めており、「減少」が7.4%、「増加」が16.9%でやや増加傾向となっている。

(1)ご自身の認知症サポート医としての活動への影響

コロナ禍のために、認知症サポート医としてこれまで関わってきた活動で影響を受けたものはありませんか？また、活動を継続している場合、どのように実施していますか？

力 認知症初期集中支援チームへの参画

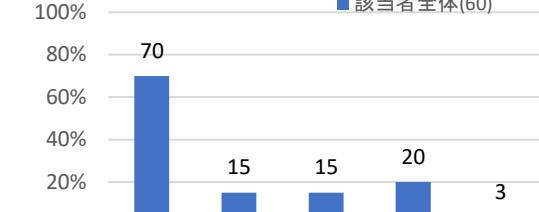
【コロナ禍前の活動経験】



【活動への影響】※左記が「1」の場合いずれかに○



【実施方法】※複数回答可



		あり	なし	無回答
調査全体	(193)	31.1	68.4	0.5
所属の区分	無床診療所 (143)	31.5	67.8	0.7
	有床診療所 (9)	44.4	55.6	0.0
	病院 (36)	30.6	69.4	0.0
	介護施設 (3)	0.0	100.0	0.0
	その他 (2)	0.0	100.0	0.0
主な診療科	神経内科 (15)	26.7	73.3	0.0
	脳神経外科 (22)	40.9	59.1	0.0
	精神神経科・心療内科 (28)	39.3	60.7	0.0
	その他内科系 (97)	27.8	71.1	1.0
	その他外科系 (21)	19.0	81.0	0.0
	その他の科 (10)	50.0	50.0	0.0
性・年代別	男性 (173)	31.8	67.6	0.6
	女性 (17)	23.5	76.5	0.0
	30歳代 (5)	20.0	80.0	0.0
	40歳代 (25)	20.0	80.0	0.0
	50歳代 (60)	35.0	63.3	1.7
	60歳代 (74)	33.8	66.2	0.0
	70歳代 (23)	30.4	69.6	0.0
	80歳以上 (6)	16.7	83.3	0.0
経過年数	3年未満 (54)	16.7	83.3	0.0
	3年以上～6年未満 (76)	28.9	69.7	1.3
	6年以上 (56)	42.9	57.1	0.0

	減少	変化なし	増加	無回答
(60)	50.0	45.0	1.7	3.3
(45)	46.7	51.1	0.0	2.2
(4)	50.0	25.0	25.0	0.0
(11)	63.6	27.3	0.0	9.1
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(4)	0.0	100.0	0.0	0.0
(9)	33.3	55.6	0.0	11.1
(11)	63.6	18.2	9.1	9.1
(27)	59.3	40.7	0.0	0.0
(4)	25.0	75.0	0.0	0.0
(5)	60.0	40.0	0.0	0.0
(55)	49.1	45.5	1.8	3.6
(4)	50.0	50.0	0.0	0.0
(1)	100.0	0.0	0.0	0.0
(5)	80.0	0.0	0.0	20.0
(21)	52.4	42.9	0.0	4.8
(25)	44.0	52.0	4.0	0.0
(7)	42.9	57.1	0.0	0.0
(1)	0.0	100.0	0.0	0.0
(9)	55.6	33.3	0.0	11.1
(22)	45.5	50.0	0.0	4.5
(24)	45.8	50.0	4.2	0.0

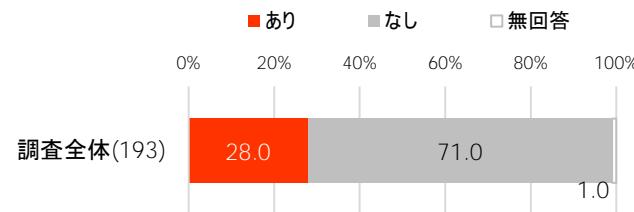
- 「認知症初期集中支援チームへの参画」の活動経験があるのは31.1%。活動への影響として「減少」が50.0%を占めている。

(1)ご自身の認知症サポート医としての活動への影響

コロナ禍のために、認知症サポート医としてこれまで関わってきた活動で影響を受けたものはありませんか？また、活動を継続している場合、どのように実施していますか？

キ かかりつけ医・他職種向け研修への協力(講師等)

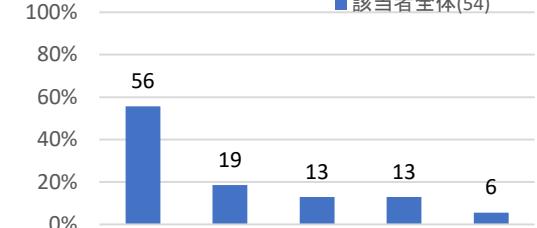
【コロナ禍前の活動経験】



【活動への影響】※左記が「1」の場合いずれかに○



【実施方法】※複数回答可



		あり	なし	無回答
調査全体	(193)	28.0	71.0	1.0
所属の区分	無床診療所 (143)	25.9	72.7	1.4
	有床診療所 (9)	33.3	66.7	0.0
	病院 (36)	36.1	63.9	0.0
	介護施設 (3)	0.0	100.0	0.0
	その他 (2)	50.0	50.0	0.0
主な診療科	神経内科 (15)	40.0	60.0	0.0
	脳神経外科 (22)	40.9	59.1	0.0
	精神神経科・心療内科 (28)	42.9	57.1	0.0
	その他内科系 (97)	16.5	82.5	1.0
	その他外科系 (21)	28.6	71.4	0.0
	その他の科 (10)	50.0	40.0	10.0
性・年代別	男性 (173)	29.5	69.4	1.2
	女性 (17)	11.8	88.2	0.0
	30歳代 (5)	40.0	60.0	0.0
	40歳代 (25)	12.0	88.0	0.0
	50歳代 (60)	31.7	66.7	1.7
	60歳代 (74)	32.4	66.2	1.4
	70歳代 (23)	17.4	82.6	0.0
	80歳以上 (6)	33.3	66.7	0.0
経過年数	3年未満 (54)	7.4	92.6	0.0
	3年以上～6年未満 (76)	30.3	68.4	1.3
	6年以上 (56)	42.9	55.4	1.8

	減少	変化なし	増加	無回答
(54)	72.2	22.2	1.9	3.7
(37)	86.5	10.8	0.0	2.7
(3)	33.3	66.7	0.0	0.0
(13)	46.2	46.2	0.0	7.7
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(1)	0.0	0.0	100.0	0.0
(6)	83.3	16.7	0.0	0.0
(9)	66.7	22.2	0.0	11.1
(12)	58.3	33.3	8.3	0.0
(16)	68.8	25.0	0.0	6.3
(6)	83.3	16.7	0.0	0.0
(5)	100.0	0.0	0.0	0.0
(51)	72.5	21.6	2.0	3.9
(2)	50.0	50.0	0.0	0.0
(2)	100.0	0.0	0.0	0.0
(3)	66.7	0.0	0.0	33.3
(19)	68.4	26.3	0.0	5.3
(24)	75.0	25.0	0.0	0.0
(4)	75.0	25.0	0.0	0.0
(2)	50.0	0.0	50.0	0.0
(4)	25.0	50.0	0.0	25.0
(23)	73.9	17.4	4.3	4.3
(24)	79.2	20.8	0.0	0.0

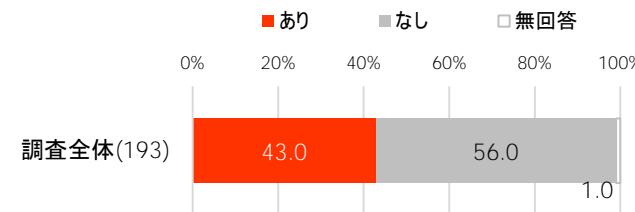
- 「かかりつけ医・他職種向け研修への協力」の活動経験があるのは28.0%。活動への影響として「減少」が72.2%と、大きな影響を受けている。

(1)ご自身の認知症サポート医としての活動への影響

コロナ禍のために、認知症サポート医としてこれまで関わってきた活動で影響を受けたものはありませんか？また、活動を継続している場合、どのように実施していますか？

ク 多職種連携の支援(地域ケア会議への参加等)

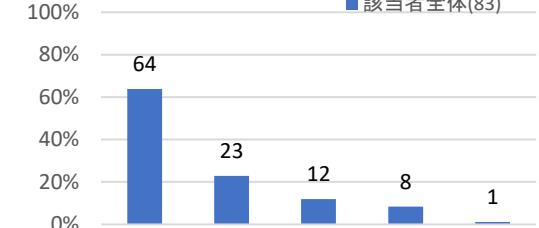
【コロナ禍前の活動経験】



【活動への影響】※左記が「1」の場合いずれかに○



【実施方法】※複数回答可



		あり	なし	無回答
調査全体	(193)	43.0	56.0	1.0
所属の区分	無床診療所	42.0	56.6	1.4
	有床診療所	66.7	33.3	0.0
	病院	44.4	55.6	0.0
	介護施設	33.3	66.7	0.0
	その他	0.0	100.0	0.0
主な診療科	神経内科	46.7	53.3	0.0
	脳神経外科	31.8	68.2	0.0
	精神神経科・心療内科	53.6	46.4	0.0
	その他内科系	38.1	60.8	1.0
	その他外科系	57.1	42.9	0.0
	その他の科	50.0	40.0	10.0
性・年代別	男性	45.1	53.8	1.2
	女性	23.5	76.5	0.0
	30歳代	40.0	60.0	0.0
	40歳代	28.0	72.0	0.0
	50歳代	51.7	46.7	1.7
	60歳代	48.6	50.0	1.4
	70歳代	30.4	69.6	0.0
	80歳以上	0.0	100.0	0.0
経過年数	3年未満	33.3	66.7	0.0
	3年以上～6年未満	42.1	56.6	1.3
	6年以上	53.6	44.6	1.8

	減少	変化なし	増加	無回答
(83)	67.5	30.1	1.2	1.2
(60)	71.7	25.0	1.7	1.7
(6)	50.0	50.0	0.0	0.0
(16)	56.3	43.8	0.0	0.0
(1)	100.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(7)	57.1	28.6	14.3	0.0
(7)	85.7	14.3	0.0	0.0
(15)	73.3	26.7	0.0	0.0
(37)	64.9	32.4	0.0	2.7
(12)	58.3	41.7	0.0	0.0
(5)	80.0	20.0	0.0	0.0
(78)	69.2	29.5	1.3	0.0
(4)	25.0	50.0	0.0	25.0
(2)	0.0	100.0	0.0	0.0
(7)	85.7	14.3	0.0	0.0
(31)	54.8	38.7	3.2	3.2
(36)	72.2	27.8	0.0	0.0
(7)	100.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(18)	44.4	44.4	5.6	5.6
(32)	75.0	25.0	0.0	0.0
(30)	70.0	30.0	0.0	0.0

- 「多職種連携の支援」の活動経験があるのは43.0%。活動への影響として「減少」が67.5%と、大きな影響を受けている。

2-10 認知症サポート医としての活動に関するこ

(1)ご自身の認知症サポート医としての活動への影響

コロナ禍のために、認知症サポート医としてこれまで関わってきた活動で影響を受けたものはありませんか？また、活動を継続している場合、どのように実施していますか？

ケ 地域住民への啓発活動（講師等）

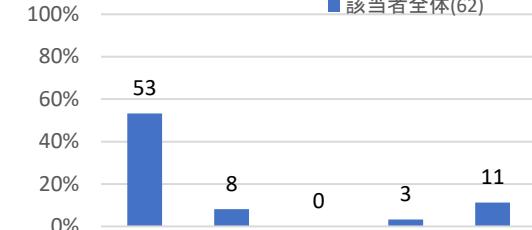
【コロナ禍前の活動経験】



【活動への影響】※左記が「1」の場合いずれかに○



【実施方法】※複数回答可



		あり	なし	無回答
調査全体	(193)	32.1	66.3	1.6
所属の区分	無床診療所	29.4	68.5	2.1
	有床診療所	44.4	55.6	0.0
	病院	36.1	63.9	0.0
	介護施設	66.7	33.3	0.0
	その他	50.0	50.0	0.0
主な診療科	神経内科	60.0	40.0	0.0
	脳神経外科	45.5	54.5	0.0
	精神神経科・心療内科	39.3	60.7	0.0
	その他内科系	24.7	73.2	2.1
	その他外科系	19.0	81.0	0.0
	その他の科	40.0	50.0	10.0
性・年代別	男性	33.5	64.7	1.7
	女性	17.6	82.4	0.0
	30歳代	60.0	40.0	0.0
	40歳代	8.0	92.0	0.0
	50歳代	35.0	61.7	3.3
	60歳代	35.1	63.5	1.4
	70歳代	26.1	73.9	0.0
	80歳以上	66.7	33.3	0.0
経過年数	3年未満	14.8	85.2	0.0
	3年以上～6年未満	35.5	63.2	1.3
	6年以上	42.9	53.6	3.6

	減少	変化なし	増加	無回答
(62)	79.0	19.4	0.0	1.6
(42)	83.3	14.3	0.0	2.4
(4)	75.0	25.0	0.0	0.0
(13)	76.9	23.1	0.0	0.0
(2)	50.0	50.0	0.0	0.0
(1)	0.0	100.0	0.0	0.0
(9)	77.8	22.2	0.0	0.0
(10)	80.0	20.0	0.0	0.0
(11)	72.7	27.3	0.0	0.0
(24)	75.0	20.8	0.0	4.2
(4)	100.0	0.0	0.0	0.0
(4)	100.0	0.0	0.0	0.0
(58)	77.6	20.7	0.0	1.7
(3)	100.0	0.0	0.0	0.0
(3)	66.7	0.0	0.0	33.3
(2)	50.0	50.0	0.0	0.0
(21)	90.5	9.5	0.0	0.0
(26)	84.6	15.4	0.0	0.0
(6)	66.7	33.3	0.0	0.0
(4)	25.0	75.0	0.0	0.0
(8)	37.5	62.5	0.0	0.0
(27)	85.2	11.1	0.0	3.7
(24)	83.3	16.7	0.0	0.0

● 「地域住民への啓蒙活動」の活動経験があるのは32.1%。活動への影響として「減少」が79.0%と、大きな影響を受けている。

2-11 認知症サポート医としての活動に関するこ

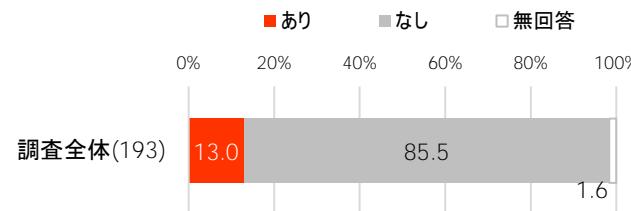
※各分析軸の() : サンプル数, グラフ・数表の単位: %

(1)ご自身の認知症サポート医としての活動への影響

コロナ禍のために、認知症サポート医としてこれまで関わってきた活動で影響を受けたものはありませんか？また、活動を継続している場合、どのように実施していますか？

コ 認知症カフェや家族会等地域住民との関わり

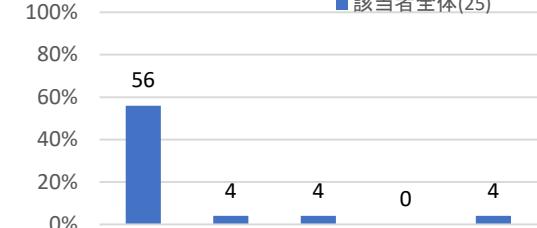
【コロナ禍前の活動経験】



【活動への影響】※左記が「1」の場合いずれかに○



【実施方法】※複数回答可



		あり	なし	無回答
調査全体	(193)	13.0	85.5	1.6
所属の区分	無床診療所	9.1	88.8	2.1
	有床診療所	22.2	77.8	0.0
	病院	22.2	77.8	0.0
	介護施設	33.3	66.7	0.0
	その他	50.0	50.0	0.0
主な診療科	神経内科	20.0	80.0	0.0
	脳神経外科	4.5	95.5	0.0
	精神神経科・心療内科	25.0	75.0	0.0
	その他内科系	9.3	88.7	2.1
	その他外科系	9.5	90.5	0.0
	その他の科	30.0	60.0	10.0
性・年代別	男性	12.7	85.5	1.7
	女性	11.8	88.2	0.0
	30歳代	40.0	60.0	0.0
	40歳代	4.0	96.0	0.0
	50歳代	8.3	88.3	3.3
	60歳代	14.9	83.8	1.4
	70歳代	17.4	82.6	0.0
	80歳以上	33.3	66.7	0.0
経過年数	3年未満	7.4	92.6	0.0
	3年以上～6年未満	9.2	89.5	1.3
	6年以上	23.2	73.2	3.6

	減少	変化なし	増加	無回答
(25)	92.0	8.0	0.0	0.0
(13)	84.6	15.4	0.0	0.0
(2)	100.0	0.0	0.0	0.0
(8)	100.0	0.0	0.0	0.0
(1)	100.0	0.0	0.0	0.0
(1)	100.0	0.0	0.0	0.0
(3)	66.7	33.3	0.0	0.0
(1)	100.0	0.0	0.0	0.0
(7)	100.0	0.0	0.0	0.0
(9)	88.9	11.1	0.0	0.0
(2)	100.0	0.0	0.0	0.0
(3)	100.0	0.0	0.0	0.0
(22)	90.9	9.1	0.0	0.0
(2)	100.0	0.0	0.0	0.0
(2)	100.0	0.0	0.0	0.0
(1)	100.0	0.0	0.0	0.0
(5)	80.0	20.0	0.0	0.0
(11)	100.0	0.0	0.0	0.0
(4)	100.0	0.0	0.0	0.0
(2)	50.0	50.0	0.0	0.0
(4)	75.0	25.0	0.0	0.0
(7)	100.0	0.0	0.0	0.0
(13)	92.3	7.7	0.0	0.0

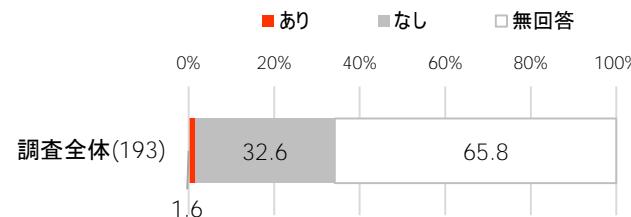
● 「認知症カフェや家族会等地域住民との関わり」の活動経験があるのは13.0%。活動への影響として「減少」が92.0%と大きな影響を受けている。

(1) ご自身の認知症サポート医としての活動への影響

コロナ禍のために、認知症サポート医としてこれまで関わってきた活動で影響を受けたもののはありますか？また、活動を継続している場合、どのように実施していますか？

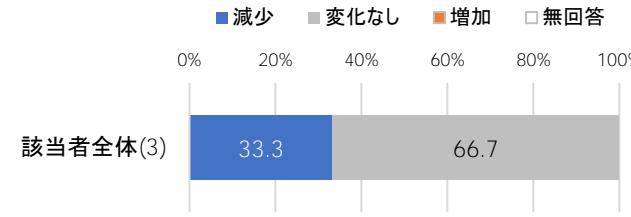
サ その他

【コロナ禍前の活動経験】



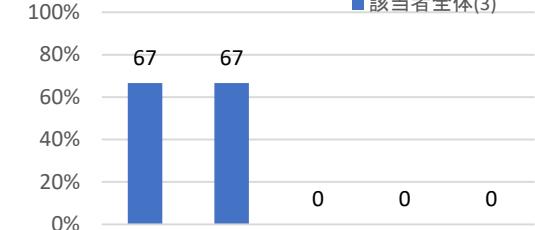
		あり	なし	無回答	
調査全体	(193)	1.6	32.6	65.8	
所属の区分	無床診療所	(143)	1.4	35.0	63.6
	有床診療所	(9)	11.1	33.3	55.6
	病院	(36)	0.0	25.0	75.0
	介護施設	(3)	0.0	0.0	100.0
	その他	(2)	0.0	50.0	50.0
主な診療科	神経内科	(15)	0.0	6.7	93.3
	脳神経外科	(22)	0.0	40.9	59.1
	精神神経科・心療内科	(28)	3.6	25.0	71.4
	その他内科系	(97)	0.0	34.0	66.0
	その他外科系	(21)	0.0	47.6	52.4
	その他の科	(10)	20.0	30.0	50.0
性・年代別	男性	(173)	1.7	32.4	65.9
	女性	(17)	0.0	35.3	64.7
	30歳代	(5)	0.0	20.0	80.0
	40歳代	(25)	0.0	32.0	68.0
	50歳代	(60)	3.3	38.3	58.3
	60歳代	(74)	1.4	29.7	68.9
	70歳代	(23)	0.0	34.8	65.2
	80歳以上	(6)	0.0	16.7	83.3
経過年数	3年未満	(54)	0.0	44.4	55.6
	3年以上～6年未満	(76)	0.0	28.9	71.1
	6年以上	(56)	5.4	25.0	69.6

【活動への影響】※左記が「1」の場合いずれかに○



	減少	変化なし	増加	無回答
(3)	33.3	66.7	0.0	0.0
(2)	50.0	50.0	0.0	0.0
(1)	0.0	100.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(1)	0.0	100.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(2)	50.0	50.0	0.0	0.0
(3)	33.3	66.7	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(2)	50.0	50.0	0.0	0.0
(1)	0.0	100.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(3)	33.3	66.7	0.0	0.0

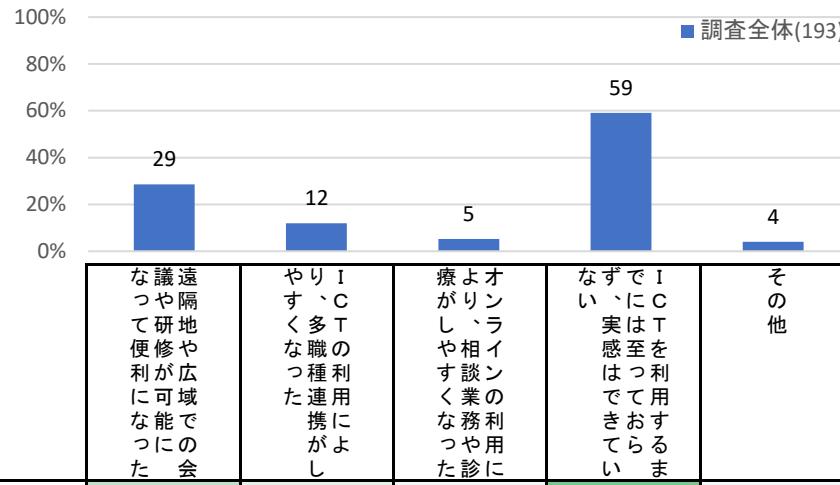
【実施方法】※複数回答可



対面	WEB	FAIRXル	電話	その他
(3)	66.7	66.7	0.0	0.0
(2)	100.0	50.0	0.0	0.0
(1)	0.0	100.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(1)	0.0	100.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(2)	100.0	50.0	0.0	0.0
(3)	66.7	66.7	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(2)	100.0	50.0	0.0	0.0
(1)	0.0	100.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
(3)	66.7	66.7	0.0	0.0

(2)ICT(情報機器によるコミュニケーション)の利用の広がり

コロナ禍を契機にICTの利用が広がり、会議や研修への参加方法も変化してきていますが、認知症サポート医としての活動における実感として感じられたことは次のうちどれですか？(複数回答可)



調査全体 (193)		28.5	11.9	5.2	59.1	4.1
所属の区分	無床診療所 (143)	25.9	11.9	4.9	60.1	4.2
	有床診療所 (9)	22.2	33.3	11.1	66.7	0.0
	病院 (36)	38.9	5.6	2.8	52.8	5.6
	介護施設 (3)	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
	その他 (2)	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0
主な診療科	神経内科 (15)	20.0	20.0	20.0	66.7	0.0
	脳神経外科 (22)	31.8	4.5	0.0	59.1	9.1
	精神神経科・心療内科 (28)	32.1	14.3	10.7	60.7	3.6
	その他内科系 (97)	25.8	11.3	2.1	58.8	3.1
	その他外科系 (21)	38.1	19.0	9.5	52.4	0.0
	その他の科 (10)	30.0	0.0	0.0	60.0	20.0
性・年代別	男性 (173)	28.9	12.1	5.2	58.4	4.0
	女性 (17)	23.5	5.9	5.9	64.7	5.9
	30歳代 (5)	60.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	40歳代 (25)	24.0	16.0	0.0	68.0	0.0
	50歳代 (60)	31.7	8.3	5.0	55.0	6.7
	60歳代 (74)	29.7	13.5	6.8	58.1	2.7
	70歳代 (23)	17.4	13.0	4.3	65.2	8.7
	80歳以上 (6)	16.7	16.7	16.7	66.7	0.0
	経過年数	3年未満 (54)	24.1	9.3	3.7	64.8
	3年以上～6年未満 (76)	35.5	14.5	6.6	52.6	1.3
	6年以上 (56)	19.6	10.7	3.6	64.3	8.9

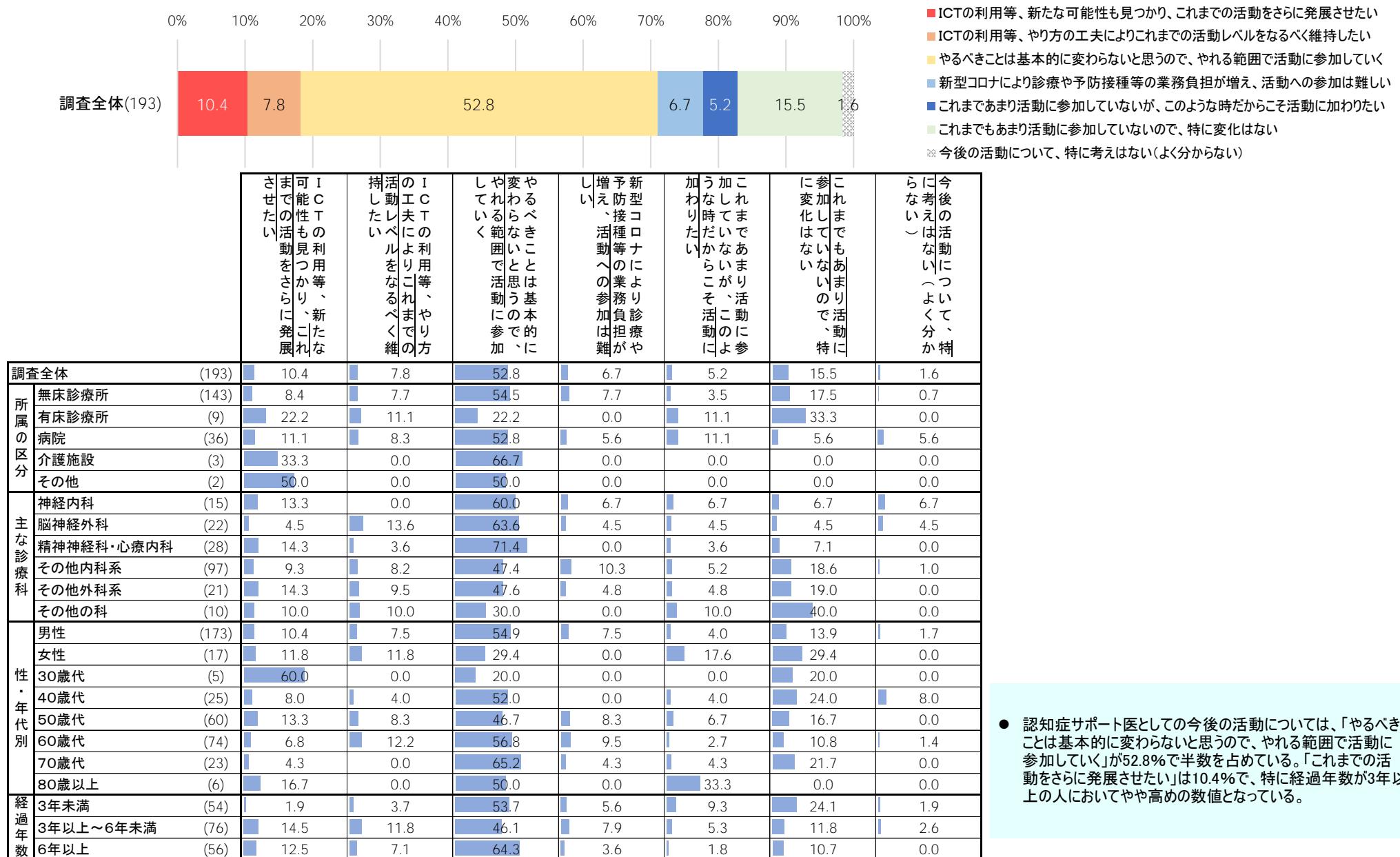
- ICTの利用に関しては、「ICTを利用するまでには至っておらず、実感はできていない」との回答が59.1%と高く、ICT利用はまだ限定的である状況がうかがえるものの、「遠隔地や広域での会議や研修が可能になって便利になった」28.5%、「ICTの利用により、多職種連携がしやすくなった」11.9%など、ICT活用による効果を実感している施設も出てきている。

2-14 認知症サポート医としての活動に関するこ

※各分析軸の()：サンプル数、グラフ・数表の単位：%

(3)ウイズコロナ時代における認知症サポート医の活動

新型コロナ感染の収束が見通せない中、今後のご自身の認知症サポート医としての活動についてのお考えに、最も近いのは次のうちどれですか？(○は1つ)



- 認知症サポート医としての今後の活動については、「やるべきことは基本的に変わらないと思うので、やれる範囲で活動に参加していく」が52.8%で半数を占めている。「これまでの活動をさらに発展させたい」は10.4%で、特に経過年数が3年以上の人のにおいてやや高めの数値となっている。

これからのウイズコロナ時代にどのように認知症サポート医の活動を継続していくのか、活動の在り方に関するご意見や新たな活動方法のご提案、その他自由にご記載ください。

年代	所属の区分	主な診療科	今後の活動に向けたご意見・ご提案など
40歳代	無床診療所	その他の内科系	ICT活用し、効率的に仕事ができるといいと思います。
60歳代	無床診療所	その他の内科系	診療については普通に面対で良いと思う。啓発活動は密にならないよう少人数でやれば良い。
50歳代	無床診療所	その他の内科系	ICTは単なる連絡手段で、電話やFAXの有無と同レベルで必要です(以前から・20年来)。全ての関連する事業所と職員が普通に使える(あって当たり前)ように誘導が必要なのでしょうか?(しづケアかけはしでなくても良い)
40歳代	無床診療所	その他の外科系	認知症力フェを開催しようと考えていましたが、今のところストップしています。全国で開催されるオンラインイベントには参加しやすくなつたように感じています。
60歳代	無床診療所	その他の内科系	クラスター発生を恐れて、対面の研修・講演会は難しい。高齢者対象の講演会、介護従事者の研修でICTを活用できる行政の支援が必要。
50歳代	無床診療所	その他の外科系	他職種との連携は現状、ほぼ活動できない状況と思われます。事態の好転を祈っております。
60歳代	無床診療所	その他の内科系	介護している人がCovid-19に罹患すると、高齢者のお世話をしてくれる人がいなくなり、非常に困ります。
60歳代	無床診療所	その他の内科系	現在のクリニック受診に関しては、コロナの影響をあまり感じていません。ただ多職種が関わること、ご家族からの感染を考慮する必要があり、要注意です。認知症をとりまく問題点としてのご家族の理解、協力が得られるか…は、コロナ禍であってもなくても一番の関心事ですので、当院は敷居を低くしておこうと思います。
70歳代	介護施設	その他の内科系	プライバシー保護に留意しつつ、ICTを用いて認知症(疑)有症者(疑)の自宅での状況を観察したい。
40歳代	病院	神経内科	サポート医として新たな活動はありません。サポート医となる前からの専門医としての活動は細々と行っており、今後もサポート医としての場があれば参加したいです。
50歳代	無床診療所	神経内科	コロナの収束により、在宅で引きこもりになっている老人の認知症への移行、認知症患者の症状増悪が社会的問題になります。
50歳代	無床診療所	その他の内科系	必要なことは消極的にならずにICTなど利用、あるいは工夫してサポート医の仕事をしていきたい。
50歳代	無床診療所	その他の外科系	高齢の患者さんの運動不足(外出低下による)が目立つため、マスク着用etcの散歩をすすめている。
50歳代	無床診療所	その他の科	国が会議室で作った制度で、現場では難しいですね。もっと学会専門医も巻き込んだ方がよいと思います。
70歳代	無床診療所	精神神経科・心療内科	京大・山中教授の“ファクターX”が、東アジア地域におけるコロナ感染数・重症者数の多くない原因と、私も考えています。従来型コロナ・ウイルス感染がある程度の集団免疫を成立させている、と考えています。(「本当はこわくない新型コロナウイルス」井上正康著、方丈社、2020年10月刊)
40歳代	介護施設	その他の内科系	ワクチン接種が普及すれば、今まで通りでも良いと思う。
60歳代	無床診療所	その他の内科系	元々認知症サポート医としての仕事がなかったため、コロナ禍での変化を感じていません。
30歳代	無床診療所	その他の内科系	ICTを通じて、人ととのつながりをとりもどす活動をより充実していきたいと思います。
60歳代	無床診療所	その他の科	多職種が隨時書き込みをしたり、掲示板のように相談をできる常設のWEBなどがあればよいかも。とはいって、常時そういう場をのぞいている人ばかりではないので、メール、FAXなどによる情報交換はまだまだ主流であると考えるが…。
60歳代	無床診療所	その他の外科系	かかっている患者さんの認知症の早期診断。改善していく様、アドバイス、介護保険のすすめ。
40歳代	病院	精神神経科・心療内科	子供の保育園問題(遅く預けて、早く迎えに行く)がコロナで続く限り、活動はあまりできないので、本当に申し訳ないです。
50歳代	無床診療所	その他の内科系	コロナ禍の本人の変化により、ファミリーにはその変化以上の負担がかかることが多い。今までそうだったが、認知症Ptがファミリーかどちらかを助けなければならぬ状況となつたら、ファミリーを助けるという方針を貫いていきたいと思う。
60歳代	無床診療所	その他の内科系	認知症サポート医の必要性をあまり感じません。
60歳代	病院	その他の外科系	まずは院内から、入院される認知症患者さんのより良い入院生活から取り組みたいと思います。
60歳代	無床診療所	その他の内科系	患者さんとの対応で細かな変化を見ていきたい。
60歳代	無床診療所	脳神経外科	コロナで病院に来ない、デイサービスに行かない(行けない)等の問題をどう解決してゆけるか、まだ分かりません。
50歳代	病院	その他の内科系	コロナ感染流行中に異動もあり、思うように活動できなかつた。
60歳代	無床診療所	その他の外科系	認知症サポート医であることを特に公表していないものもあるが、求められれば活動する形では、やっていきたい。他の業務が忙しく、なかなか協力できていない。
40歳代	病院	その他の内科系	現場(家庭訪問)に行く方や、コロナのため来られなくなったご家族との対応など、直接関わる方の苦労を考えれば、時々相談されるだけの私はICT活用できれば、協力したいと思っています。
70歳代	無床診療所	神経内科	依頼があればそれにこたえていく方向です。
50歳代	無床診療所	その他の内科系	地域的にはあまりコロナは関係ないと思われます。
70歳代	無床診療所	その他の内科系	当地、囲い込みが多く、地域的に問題があります。当院受診中のptに関しては支援センターに依頼しております。
50歳代	無床診療所	脳神経外科	当院は認知症の診断及びBPSD増悪時の対応が主になっており、その中でも脳卒中などの緊急疾患にも対応しなければならないことも多々あり、ICTの良いところは取り入れていくが、対面での診療でないと難しい面も多々あるかと思われます。

これからのウイズコロナ時代にどのように認知症サポート医の活動を継続していくのか、活動の在り方に関するご意見や新たな活動方法のご提案、その他自由にご記載ください。

年代	所属の区分	主な診療科	今後の活動に向けたご意見・ご提案など
60歳代	有床診療所	精神神経科・心療内科	クラスターの発生した特養(嘱託)への出入りが一時的に中断となるなど臨床上の影響はありましたか、サポート医としては新型コロナの影響は実感なく、イメージもしにくいです。
50歳代	病院	その他の内科系	訪問による活動を増やすこと、感染に留意して対面を維持する事、ICTの活用の3面作戦を考えております。
60歳代	無床診療所	その他の内科系	様々な施設入所者が、家族との面会を制限されたり、外出機会がなくなったりしており、それらが身体機能の低下や認知機能の低下に悪影響をもたらしているように感じる。(サポート医の業務と関連ないかもしれません)
60歳代	無床診療所	その他の科	認知症サポート医なので認知症診療をしなければいけないのですが、認知症患者の泌尿障害を泌尿器科医として診ているにとどまっています。
70歳代	有床診療所	その他の内科系	認知症初期集中支援チーム、地域ケア会議などあるが、その効果については疑問に思う。会議の方法など見直す必要がある。地域住民の啓発活動、認知症カフェetc.の関わりを持つてもいいが、何も相談も依頼もない。
40歳代	無床診療所	その他の外科系	地域としてサポート医が不可欠であろうと資格取得した。今後、社会的需要に応じてやれることやります。
50歳代	無床診療所	その他の科	ワクチン接種もしたのでICTに頼らず、認知症Pt.と家族には体温の伝わるようなサポートを継続したい。なんだかんだいっても、face to faceが基本と考えます。連絡などはTEL、FAX、メールetc.かわりませんが、ユマンチードの手法などコロナ禍ではむずかしいですか。スキンシップ、体温を感じることが、認知症ケアのポイントと考えます。ICTも便利ですが、現場まで足を運びたいと考えています。居住の環境をみたり感じたりするのも大事かと存じます。
70歳代	無床診療所	その他の内科系	現在連日コロナワクチン接種で忙しくしているが、外来受診中の方には十分時間を割いて説明をつづけている。関わりの年数が重なり、周辺症状強い患者さんが増加し、精神科相談、受診、グループホーム入所が増加している。私自身が精神科に助けられている状態である。
80歳代以上	無床診療所	その他の内科系	ポストコロナについては当然、地域医療構想の見直しや、医療機関への受診のあり方の変化等、通常の医療の変化も含めた医療体制のあり方には変革も求められるものと思われる。しかし認知症に対するあり方は現状が大きく変わるとは思えず、わずか施設に於けるクラスター防止に留意する事位(認知症の人の感染はその施設内の解決となる為重要)となると思われる。現状の施策を諒々と進める様努力が必要となる。
60歳代	有床診療所	精神神経科・心療内科	各地域の認知症疾患医療センターとサポート医との交流がまだ少ないと感じている。ICTの利用を機に、関係性ができる様に活動していきたい。
50歳代	無床診療所	その他の内科系	新型コロナウイルス感染症が問題となる直前にサポート医となつたため、未だサポート医としての活動を行なっていない状況となっています。今後、可能な範囲で活動を開始していくべきだと思っています。
70歳代	無床診療所	その他の内科系	現在の状況が変わらないとなにもできない。
50歳代	病院	脳神経外科	ICTを利用するメリットはあると思いますが、認知症の診療においては、ソーシャルディスタンスをとりすぎない対応が必要と考えています。
60歳代	有床診療所	精神神経科・心療内科	認知症初期集中支援チームでは医療につながっていない人のアウトリーチがあるため、コロナ禍でも実施せざるを得ませんが、他の相談・意見交換・連携はICTを使用した上でできるものが多いと感じています。最近ようやく多職種連携のZoom会議が伊豆の国市と中核病院を中心にはじまつたところです。
50歳代	病院	精神神経科・心療内科	病院経営が厳しく、医師会員から外されてしまった。医師会の活動に協力したくても、このような次第で不平感となっている。
50歳代	無床診療所	その他の内科系	ICTの活用と対面をうまく組み合わせることにより、より充実した活動ができるとよいと思います。
60歳代	無床診療所	神経内科	コロナ禍で停滞している活動を、今後の流行状況をみながらどのように立て直していくのか?地域の中でひきこもり、孤立化している認知症の方とどのように、接触する機会や交流の場を設けていくか考えていきたい。